



「海外体験型異文化コミュニケーションI〈主題科目：第2Q〉」
 「海外体験型異文化コミュニケーションII〈高度教養主題科目：集中講義〉」



として開講します。ぜひご参加下さい！

全学部生対象 2026年度前期 超短期留学入門プログラム
 プトラ・マレーシア大学の学生と共に学ぶ

マレーシア・多文化体験プログラム

参加者募集！



- ▶ 海外渡航が初めての方でも参加しやすいプログラムです
- ▶ 事前に定めたテーマに沿って海外で多様な文化・社会体験を行い、課題の発見と気づきを得るプログラムです

派遣先
マレーシア
 (主にクアラルンプール近郊)
 ※本学教職員が引率します

派遣期間
 2026年8月23日(日)
 ~9月1日(火)

費用
33万円程度
 ※航空運賃、宿泊費、朝昼食費、現地交通費、施設入場料等を含みます
 ※香川大学校友会への加入者には、支援がある予定です
 ※詳細は募集要項を参照してください

対象・定員
全学部の主に学部1~4年生
20名
 ※英語力は問いません
 ※国際交流・異文化体験に興味がある方
 ※第2Q,集中講義の履修が必要、必修科目等と重複する場合は要相談

応募・履修について
第2クォーター：月曜5時限目
集中講義：8月19日-21日

プログラム内容・概要
 フィールドワークを通じて学ぶ！
 ◆香川大学学術交流協定校(プトラ・マレーシア大学[UPM])訪問
 ◆異文化・多様性を学ぶ各種活動
 ◆JICAマレーシア事務所訪問 等



充実したサポート
 ◆期間中本学の教職員が引率・助言します
 ◆現地協定校学生(バディ)がサポートします
 バディ、スタッフはとてもあたたかく、忘れられない交流の機会となります
 ◆留学前の研修、留学後のフォローがあります

問合せ先 インターナショナルオフィス 滝川祐子 E-mail : takigawa.yuko@kagawa-u.ac.jp

【説明会・前年度加者による報告(ハイブリッド形式)】 オンラインQRコード→
 2026年5月25日(月) 12:20~12:40 幸町キャンパス グローバル・カフェ

オンラインURL → <https://teams.microsoft.com/meet/48929662226057?p=5s6pBnvYbLYf8O4FGS>



【2025年度プログラム参加者の声（一部）】

授業で民族衣装の説明を聞いて、服装の特徴に様々な意味があり興味深かった。着用する前は袖が長くて暑そう、動きづらいそうといったネガティブなイメージがあったが実際に着てみると肌触りもよく、通気性があり快適であった。宗教や文化を知るうえで自分の見た目に囚われず、実際に体験することの大切さを感じた。（略）ピンクモスクではモスクのデザインの美しさに感動した。複数の国のイスラム建築を融合され精巧な模様で出来上がっており、土地の歴史と世界とのつながりが感じられた。また、マレーシアの民族衣装であるバジュ・クルンを着てモスクに入ってみて体験し、より魅力を感じた。

インターネットやSNSなど情報化社会であるが、分からないことを知るためにインターネットばかりを使うのではなく実際に体験することの大切さを感じた。マレーシアで過ごしてみると服装や食べ物、民族の系統など自分とは異なる文化、宗教であることは見れば分かるが、マレーシアではそれを受け入れているというよりは自然であることのように感じた。多文化共生とは多文化というものが存在していて、それを自分の中で受け入れるというのではなく、多文化というものは社会や環境の一部なのではないかと考えた。（経済学部1年（参加当時））

私がマレーシア・多文化体験プログラムに参加することで生じた、「重要な変化」は3つある。

まず、東南アジアへの偏見をなくすことができたことだ。（略）ペトロナスツインタワーやJICA事務所周辺など、東京都にも劣らないようなビジネス街を見て、東南アジアより日本は格段に優れているという偏見をなくすことができた。

次に、伝統的な建築や美術品に対する見方を得られたことだ。今までは、美術に興味があっても、美術館で何を見て、何を感じることができるのか疑問であった。しかしプログラムを通して国の歴史を知ること、美術品からその歴史を再確認したり、宗教について詳しく知ること、美術品の文様の意味を考察してみたりするなど、自分なりの楽しみ方を身につけることができた。（略）

最後に、英語に対する恐怖心を薄くさせることができたことだ。私は母国語でない英語を使うことに恐怖心を持っていた。円滑な意思疎通をとれなくなるという不安が付きまとうためだ。しかしながら、このプログラムを通して、お互いに相手の話を聞こうという意思を持てば多少の英語のスキル不足は補えるのだと実感できた（略）。英語を使うことが怖くないわけではないが、マレーシアで自分の英語が通じたという経験はこれからの大学生活において大きな支えになると確信している。

（創造工学部1年（参加当時））

▶行程（2026年度の予定）

日付	スケジュール
8/23(日) 1日目	午前：関西国際空港集合→クアラルンプール（マレーシア）へ出発 午後：クアラルンプール空港着
8/24(月) 2日目	午前：歓迎セッション、大学博物館見学、キャンパスツアー等 午後：プトラ・マレーシア大学での講義1
8/25(火) 3日目	午前：プトラ・マレーシア大学での活動1 午後：プトラ・マレーシア大学での活動2
8/26(水) 4日目	午前：クアラルンプール市内見学（マレーシアツーリズムセンター、ペトロナスツインタワー、バツ洞窟見学等） 午後：JICAマレーシア事務所訪問
8/27(木) 5日目	午前：プトラ・マレーシア大学での講義2 午後：プトラ・マレーシア大学での講義3
8/28(金) 6日目	午前：ココア技術開発センター訪問、マレーシアでの学びに関するプレゼンテーション準備等 午後：修了式、プレゼンテーション、修了証授与
8/29(土) 7日目	終日：UPM所管の森林保護区訪問
8/30(日) 8日目	終日：プトラジャヤ（マレーシアの行政新首都である連邦直轄領）見学
8/31(月) 9日目	午前：プトラジャヤ 独立記念パレード見学 夜：クアラルンプール空港発
9/1(火) 10日目	午前：関西国際空港着、解散

* BEVI(Beliefs, Events, and Values Inventory)は、表層に現れる個人の知識やスキルなどに比べ、深層に存在する、感情、動機、価値観、信念、欲求などの分析を行う心理テストです。留学プログラムでは言語力・コミュニケーション力の改善以外に、異文化理解や宗教観や社会性、ジェンダー意識などの変化が期待されます。香川大学では、留学前後に実施することで、参加者に起こる変化への「気付き」を促す目的として、数年前からBEVIを採用しています。IOから提供されるURLにアクセスして設問に回答する自己テスト形式で行われ、回答した個人情報は厳正に管理されますので安心してください。